

## わたしたちが今考えなければならないこと

～将来を見据えた公共施設整備の方向性～

### 「東久留米市公共施設のあり方に関する基本方針(案)」をとりまとめました

昭和30年代～40年代半ばにかけて急速に人口が増加した東久留米市においても、これまで整備してきた公共施設の老朽化やその機能を適正に保つための維持更新費用の集中は、喫緊の課題となつていいます。全国的な潮流と同じく、今後担税世代である生産年齢人口が減り税収が先細りしていく一方、老年人口の増加に

公共施設の老朽化問題は、昨今社会的にも注目を集めており、橋梁やトンネル天井板などの崩落事故の他、大規模な人数を収容できるホールなどの身近な施設における経年劣化などによる事故も目立ち始めています。公共施設の機能を適正に保ち、安全に利用できるよう管理することは、国や地方自治体の大きな責務です。

高度成長期以降の全国的な人口急増に合わせ、公営住宅や学校などの公共施設や道路・橋梁、上下水道などの社会インフラの整備が急速に進められ、生活の利便性や豊かさが飛躍的に高められました。その一方、こうした公共施設の老朽化に伴う維持更新費用は、今後集中的に発生するものと見込まれ、厳しい財政事情を抱える国や地方自治体にとって、その費用確保が大きな課題となつていきます。

#### 策定の目的

市では、27年5月に「東久留米市公共施設白書(以下「公共施設白書」)」を作成し、これに基づき、公共施設の維持保全や各施設のあり方の見直しを図っています。このたび、学識経験者や公募市民委員などからなる「公共施設のあり方に関する基本方針検討委員会」からの答申を得て、将来を見据えた公共施設(いわゆるハコモノ)の整備および公共施設における行政サービスに関する基本的な考え方を「東久留米市公共施設のあり方に関する基本方針(案)」としてとりまとめました。今号では同基本方針案の概要をお知らせします。詳しくは行政管理課☎470・8031へ。

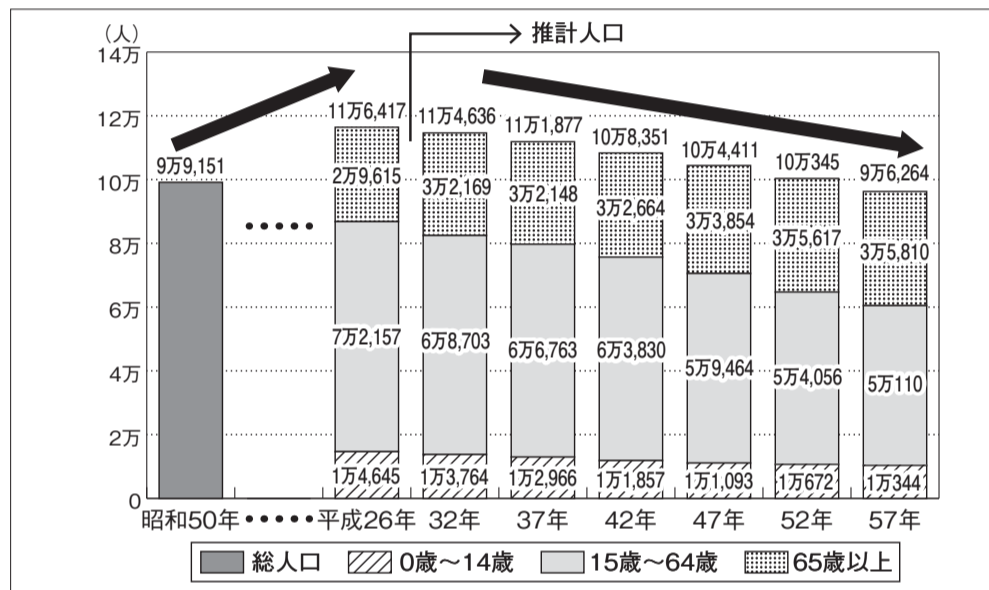


図1 東久留米市の人口の推移 (住民基本台帳人口に基づく推計結果)

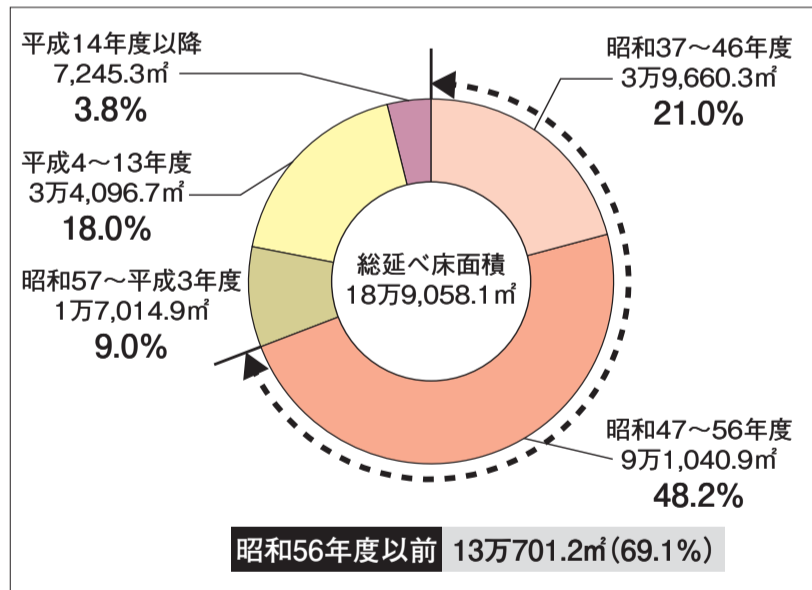


図2 竣工年度別の建物延べ床面積

### 公共施設白書2015

市では、将来を見据えた公共施設に関する取り組みの第一歩として、27年5月に公共施設白書を作成しています。

公共施設白書は、行政管

理課(市役所4階、市政情報コーナー)同2階、中央・滝山・東部・ひばりが丘の各図書館、市ホームページでご覧いただけます。

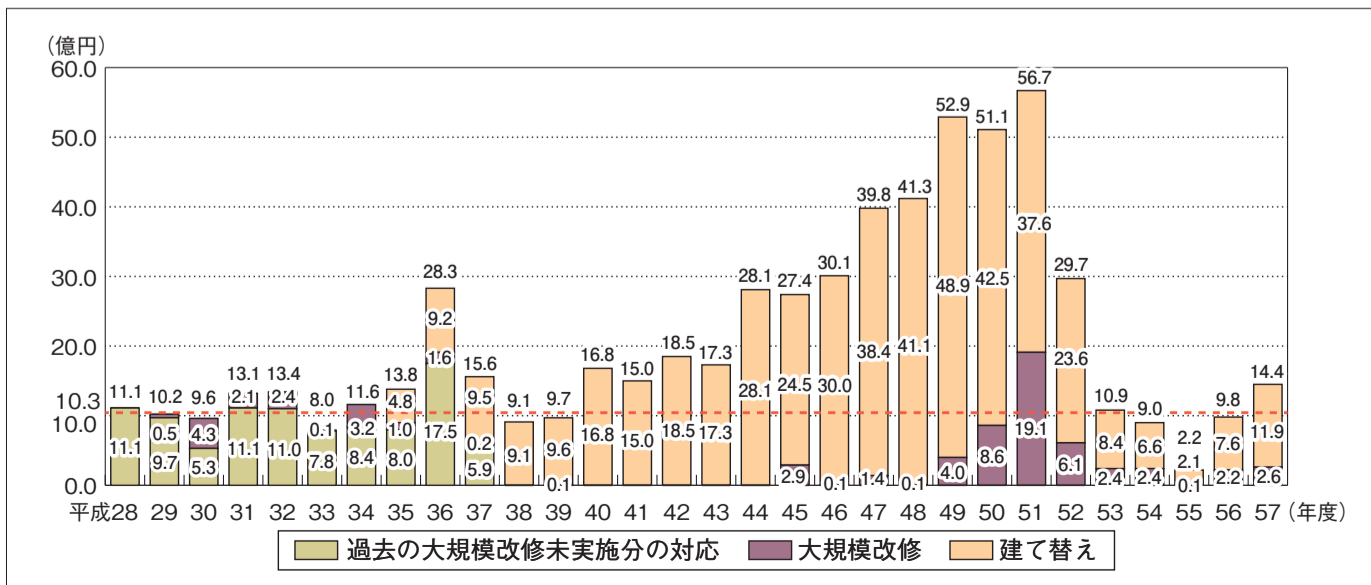


図3 公共施設の将来更新費用の試算結果

(2面へ続く)

